

第68回全日本学生体操競技選手権大会

要 項

| | |
|-----|---|
| 主 催 | 全日本学生体操連盟 |
| 主 管 | 山口県体操協会 |
| 後 援 | 山口県教育委員会 (公財) 山口県体育協会 (公財) 日本体操協会 朝日新聞 |
| 協賛 | セノー (株) (株) ササキスポーツ (株) ジャクパ シルクドソレイユ アトムスポーツ 京王観光 (株) (有) アイシス (株) 防長トラベル |

1. 期間

- 平成26年 8月18日(月)・・・会場セッティング・本会場練習
19日(火)・・・本会場練習、審判・監督会議、開会式
20日(水)・・・2部校団体総合選手権及び個人総合選手権予選
21日(木)・・・1部校団体総合選手権及び個人総合選手権予選
22日(金)・・・1・2部校個人総合選手権及び種目別選手権

2. 会場

- 会 場 山口県スポーツ文化センター
所 在 地 〒753-0815
山口県山口市維新公園4丁目1-1
083-922-2754

3. 参加資格

- (1) 平成26年度、全日本学生体操連盟加盟規程に基づき加盟を済ませた(短期大学、専修大学、高等専門学校を含む)者。
- (2) 全日本学生体操連盟への加盟が4回以下の者で、各大学所在地の都道府県体操協会の定める登録規定により登録を済ませた者。
- (3) 年度途中で所属変更があった者は、所属変更届が受理された日から1年間は全日本学生体操競技選手権大会に団体選手権の一員として競技会に出場することは出来ない。(日本体操協会登録規定第13・14条参照。) *以下、学生体操競技選手権大会は「インカレ」と記す。
- (4) 1部校で平成26年度の東・西インカレに出場した大学。
なお、個人の出場枠は、平成25年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。
(以下、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す。)

<男子>

- ・チーム 12校
- 平成25年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より
- ・チーム個人選手 42名
- 1～3位校 各5名
- 4～6位校 各4名
- 7～9位校 各3名
- 10位以下校 各2名
- (含1部昇格校)

<女子>

- ・チーム 10校
- ・チーム個人選手 28名
- 1・2位校 各4名
- 3～6位校 各3名
- 7位以下校 各2名
- (含1部昇格校)

(5) 2部校で平成26年度の東・西インカレにおいて出場資格を得たチーム及び個人。

(以下、東・西インカレにおいて個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す。)

<男子>

- ・チーム 12校 (平成26年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校)
- ・チーム個人選手 18名 (平成26年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より)
- 1～3位校 各2名 4～6位校 各1名
- ・予選通過個人選手 24名 (本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手で、平成26年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各12名)

<女子>

- ・チーム 8校 (平成26年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各4校)
- ・チーム個人選手 12名 (平成26年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より)
- 1・2位校 各2名 3・4位校 各1名
- ・予選通過個人選手① 2名 (本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の平成26年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名)
- ・予選通過個人選手② 16名 (本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、平成26年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各8名)

※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手(女子は予選通過個人選手①)の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、東・西インカレにおける全日本インカレ通過者会議までとする。

※ 東・西インカレにおける通過者会議で決定した予選通過個人選手からID申請書締切日までに棄権の申し出があった場合、東・西インカレそれぞれにおける次点の選手を順次繰り上げることとする。

4. 該当校及び参加人数

(1) チーム編成について

- ・チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
- ・1・2部校男女とも、1チームは最大6名(最小5名)とする。

(2) 該当校及び参加人数

- ・1部校男子チーム 12校 (平成26年度の東・西インカレの出場を要する)
- ・1部校男子個人 42名 (平成25年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より)

- | | | | |
|-----------|----|-----------|------------|
| 1. 順天堂大学 | 5名 | 7. 日本大学 | 3名 |
| 2. 日本体育大学 | 5名 | 8. 駒澤大学 | 3名 |
| 3. 仙台大学 | 5名 | 9. 静岡産業大学 | 3名 |
| 4. 筑波大学 | 4名 | 10. 国士舘大学 | 2名 |
| 5. 早稲田大学 | 4名 | 11. 中京大学 | 2名 |
| 6. 鹿屋体育大学 | 4名 | 12. 福岡大学 | 2名 (1部校昇格) |

・1部校女子チーム 10校 (平成26年度の東・西インカレの出場を要する)

・1部校女子個人 28名 (平成25年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より)

- | | | | |
|-------------|----|-------------|------------|
| 1. 国士舘大学 | 4名 | 6. 中京大学 | 3名 |
| 2. 日本体育大学 | 4名 | 7. 日本女子体育大学 | 2名 |
| 3. 大阪体育大学 | 3名 | 8. 筑波大学 | 2名 |
| 4. 東京女子体育大学 | 3名 | 9. 仙台大学 | 2名 (1部校昇格) |
| 5. 武庫川女子大学 | 3名 | 10. 慶應義塾大学 | 2名 (1部校昇格) |

・2部校男子チーム 12校 (平成26年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校)

・2部校男子チーム個人選手 17名 (平成26年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より)

☆東インカレ上位6校☆

☆西インカレ上位6校☆

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|----|
| 1. 国際武道大学 | 2名 | 1. 九州共立大学 | 2名 |
| 2. 慶應義塾大学 | 2名 | 2. 新潟経営大学 | 2名 |
| 3. 東海大学 | 2名 | 3. 大阪体育大学 | 2名 |
| 4. 青森大学 | 1名 | 4. 東海大学九州 | 1名 |
| 5. 明治大学 | 1名 | 5. 天理大学 | 1名 |
| 6. 北翔大学 | (個人枠返上) | 6. 関西学院大学 | 1名 |

・2部男子予選通過個人選手 25名 (本大会チーム出場大学以外の大学所属選手より)

☆東インカレ上位13名☆

☆西インカレ上位12名☆

- | | | | |
|----------|-----------|----------|------------|
| 1. 植月 悠麻 | 7. 鳥羽 拓也 | 1. 荒武 優仁 | 7. 樋口 竜二 |
| 2. 佐藤 伸 | 8. 河村 貴帆 | 2. 鈴木 久登 | 8. 圓子 海斗 |
| 3. 善永 徹 | 9. 伊藤 翼 | 3. 小林 将樹 | 9. 邱 喬生 |
| 4. 米田 昌史 | 10. 園 昂大 | 4. 涌井 栄祐 | 10. 大成 裕仁 |
| 5. 高橋 大地 | 11. 松永 直樹 | 5. 西川 晃弘 | 11. 鳥山 陸 |
| 6. 川原 隆志 | 12. 板垣 治 | 6. 亀山 就平 | 12. 佐久間 光太 |

※13. 田口 真樹

※ 北翔大学がチーム個人枠を返上した為

・2部校女子チーム 8校 (平成26年度の東・西インカレ団体総合選手権上位4校)

・2部校女子チーム個人選手 7名 (平成26年度の東・西インカレ団体総合選手権成績より)

☆東インカレ上位4校☆

☆西インカレ上位4校☆

- | | | | |
|----------|---------|-----------|----|
| 1. 順天堂大学 | (個人枠返上) | 1. 静岡産業大学 | 2名 |
| 2. 東海大学 | (個人枠返上) | 2. 天理大学 | 2名 |

- | | | | |
|---------|----|-----------|---------|
| 3. 駒澤大学 | 1名 | 3. 福岡大学 | 1名 |
| 4. 日本大学 | 1名 | 4. 九州共立大学 | (個人枠返上) |

・ 2部校女子予選通過個人選手① (東・西インカレ個人総合選手権得点上位5名※)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 坂崎 凜 | 2. 森田 栞帆 | 3. 寺田 葉月※ |
| 4. 宮崎 涼寧※ | 5. 嶋田 笑子※ | 6. 宮田 千嘉※ |
| 7. 梅澤 杏奈※ | | |

※1 順天堂大学・九州共立大学・東海大学がチーム個人枠を返上した為

・ 2部校女子予選通過個人選手② (東・西 各8名)

☆東インカレ上位8名☆

1. 星野 絵美
2. 長沼 園佳
3. 武田 千幸
4. 松倉 美和
5. 小林 朝香
6. 斉藤 亜紗子
7. 佐藤 海里
8. 樺澤 かれん

☆西インカレ上位8名☆

1. 岡本 絵理
2. 小田切 祥乃
3. 長谷川 由貴
4. 山口 こはる
5. 濱口 眞由美
6. 山岡 美穂
7. 井筒 絢香
8. 小柴 藍子

5. 個人総合選手権及び種目別選手権について

- (1) 個人総合選手権には、1・2部校男女とも個人総合選手権予選における個人総合得点の上位より男子1部校36名、2部校36名、女子1部校30名、2部校24名が出場できる。
- (2) 通過者会議において個人総合選手権、種目別選手権欠場の申し出があった場合は、順次繰り上げるものとする。
- (3) 個人総合選手権は、種目別選手権を兼ねる。尚、個人総合選手権出場者以外で男女とも個人総合選手権予選における各種目の上位8名の選手は、該当種目のみ種目別選手権の出場資格を有する。
- (4) 追加コーチID申請は通過者会議で行う。

6. 補欠について

- (1) 各チームの補欠は2名までとする。但し、チーム個人選手が補欠を兼ねてもよい。
- (2) 2部校の予選通過個人選手についての補欠は認めない。

7. 選手変更について

- (1) 選手変更の申請は、書面で8月18日(月)16時までに受付に提出し、その後の変更は監督会議で申し出ること。但し、競技2日目に出場する選手が1日目の本会場練習、又はサブ会場練習時に怪我をして出場不能となった場合、大会本部への申請により監督会議終了後も変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場資格を有する選手は、予めID申請を行ったチーム5~6名、及び補欠2名の計5~8名であり、その他の選手との変更は認めない。(補欠を兼ねたチーム個人選手は、チーム出場資格を有する。)
- (3) 男女1・2部校のチーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。(選手変更をする可能性がある場合、変更後の選手も傷害保険被保険者名簿に記入すること)

8. 競技方法について

(1) 適用規則

- ・ F I G 競技規則に準ずる。

<男子>

- ・ 2013 年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

<女子>

- ・ 2013 年版採点規則（競技 I）及び体操競技情報最新号を適用する。

(2) 順位の決定

- ・ 団体総合選手権：各種目上位 5 名の得点の総合点で競う。※女子跳馬は 1 本の演技とする。
- ・ 団体種目別選手権：各種目上位 5 名の得点で競う。
- ・ 個人総合選手権兼種目別選手権：全種目の総合点で個人総合選手権、各種目の得点で種目別選手権を競う。男子跳馬は 2 回の演技のうち、1 本目を個人総合、2 本の平均点を種目別の得点とする。

※ 0 点は棄権ではなく得点として扱う。

※ 新技申請については、審判会議開始 30 分前までに受付に提出すること。

(3) 班編成

- ・ 1 部校：平成 25 年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。
- ・ 2 部校：平成 25 年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績により決定する。

(4) 開始種目

- ・ 団体総合選手権は、大会本部の抽選により決定する。
- ・ 個人総合選手権及び種目別選手権は、個人総合選手権予選の成績により班編成を行う。個人総合選手権予選通過 1 位の選手が最終種目の最終演技者になるように班編成をする。なお、演技順は繰り上がりに統一する。

(5) 器具について

男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する（詳細は競技部報に記載する）。

9. 表彰

< 1 部校 >

(1) 団体総合選手権の部

- ・ 男子優勝校・・・高松宮殿下記念杯
- ・ 女子優勝校・・・高松宮妃記念杯
優勝旗、優勝杯、メダル 1～3 位、賞状 1～8 位

(2) 団体種目別選手権の部

賞状 1 位

(3) 個人総合選手権の部

楯 1～3 位、賞状 1～8 位

(4) 種目別選手権の部

賞状 1～8 位

< 2 部校 >

(1) 団体総合選手権の部

優勝杯、メダル 1～3 位、賞状 1～8 位

(2) 団体種目別選手権の部

賞状1位

(3) 個人総合選手権の部

楯1～3位、賞状1～8位

(4) 種目別選手権の部

賞状1～8位

※ 1・2部校とも、同点は同順位として表彰する。

10. 帯同審判員派遣について

- (1) 本大会にチーム参加する男子1部校昨年度全日本インカレ1～6位は2名（尚、1名以上のD審判有資格者を義務付ける）、7位～1部昇格校、2部校は1名、女子1部校並びに2部校東西インカレ上位各3校は1名、1種審判有資格者の審判員を派遣しなければならない。なお、その審判に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。また保険料について、派遣する人数分の費用（1名につき900円）を支払うこと。
- (2) 審判員を派遣できない大学は70,900円（保険料900円込み）をもって大会本部に依頼すること。
- (3) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。
- (4) 審判員は、1・2部校とも審判実務を行わなければならない。
- (5) 各大学指導者が審判員を兼ねる場合は『審判員・指導者兼任願い』を本大会申し込み1次締め切りまでに提出しなければならない。
- (6) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。

11. 補助役員について

- (1) 男女共、本大会に参加する1部校は2名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき15,900円（保険料900円込み）をもって大会本部に依頼すること。

12. 部別昇格について

男女とも1部最下位1校が降格し、2部最上位1校が昇格する。

また、2部2位校の得点が1部の男子11位・女子9位の得点を上回った場合、これを入れ替える。

同点による部別昇格の決定（序列）については『同点順位について』を適用する。

13. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。

また部長、監督、主務は競技中の競技区域(部報参照)に入ることは出来ない。尚、音楽係のID保持者は音楽席のみで活動出来る。

個人で編成される班（個人総合選手権予選、個人総合・種目別選手権）でのコーチの人数は、各種目（組）につき、一大学4名以上は2名のコーチ、3名以下は1名のコーチとする。ただし、女子の一大学3名以下の組に限り、段違い平行棒コーチを一名追加できるものとする。

※ ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。

- (2) トレーナー申請を希望する大学は所定の申請書を、本大会申し込み1次締め切りまでに提出すること。なお、トレーナーは指定の場所のみで活動すること。

- ※ トレーナーの申請人数は男女とも各1名とする。
- ※ メンタルトレーナーもこのトレーナーと同様の扱いとする。
- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。また、iPodなどのポータブルオーディオプレーヤーを使用する場合は、各大学専用のスピーカーを用意すること。
- (4) セッティング・カッティングは全員参加とする。参加した大学のみ18日の会場練習を出来るものとする。参加が出来ない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。
- (5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。

14. 参加申し込みについて

(1) 参加費

| | |
|-----------------------------|---------|
| 1チーム | 60,000円 |
| 個人(1名につき) | 12,000円 |
| 保険料(選手及び補欠、補助役員、帯同審判員1名につき) | 900円 |

(2) 所定の用紙に必要事項を記入の上、大会本部に必ず郵送で申し込むこと。

(3) 締め切り期日

1次締め切り (ID申請書以外) 7月1日 (火) 18時必着
最終締め切り (ID申請書) 7月22日 (火) 18時必着
HP 部報掲載予定日 7月29日 (火)

※ プログラム作成等の準備がある為、締切日を厳守すること。

期日を過ぎたものは一切受け付けない。

(4) 参加費は、本部所定の銀行へ1次締め切りまでに必ず、大学名(男女別)で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク 男子→ダンガクレンダイガク

(5) 参加費振込先

未定(決まり次第別紙にて掲載致します。)

(6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。原則として締め切り期日以降の欠場は認めるが、参加費は返金しない。

(7) 申し込み・問い合わせ先

〒150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1 (公財) 日本体操協会気付

全日本学生体操連盟 第68回体操競技全日本インカレ大会宛

TEL 070-5373-6333 (本部)

070-5070-6333 (競技部長)

FAX 03-3481-2344

E-Mail gymgakurenn@yahoo.co.jp

HP <http://gymgakurenn.noor.jp>

時間 18:00~21:00(土日、祝日を除く)

担当者 (男子) 笹岡 麻緒 (女子) 佐々木 大明

同点順位について

①表彰について

| | |
|------------------------------|----------------|
| 団体総合選手権 個人総合選手権 種目別選手権 | 同点は同順位として表彰する。 |
|------------------------------|----------------|

②通過に関する順位付けについて

| | |
|---------------|---|
| 団 体 選 手 権 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。 ・ それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム） ・ 最低種目得点の男子5種目、女子3種目を除いても尚同点の場合は、同順位とする。 |
| 個 人 総 合 選 手 権 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。 |
| 種 目 別 選 手 権 | <ul style="list-style-type: none"> ・ その大会における個人総合順位の高い者。 |

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。